

事業所自己評価

ユーカリ

が丘教

評価対象施

室:1

職員の配置数は適切であるか	0	0	1	0
事業所の設備等について、バリアフリー化の	0	1	0	0
業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目	0	0	1	0
保護者等向け評価表を活用する等によりアン	0	0	1	0
この自己評価の結果を、事業所の会報やホー	0	0	1	0
第三者による外部評価を行い、評価結果を業	1	0	0	0
職員の資質の向上を行うために、研修の機会	0	0	1	0
アセスメントを適切に行い、子どもと保護者	0	0	1	0
子どもの適応行動の状況を図るために、標準	0	0	1	0
活動プログラムの立案をチームで行っている	0	0	1	0
活動プログラムが固定化しないよう工夫して	0	0	1	0
平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ	0	0	1	0
子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動	0	0	1	0
支援開始前には職員間で必ず打合せをし、そ	0	1	0	0
支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、	0	1	0	0
日々の支援に関して正しく記録をとることを	0	0	1	0
定期的にモニタリングを行い、放課後等デイ	0	0	1	0
ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合	0	0	1	0
障害児相談支援事業所のサービス担当者会議	0	0	1	0
学校との情報共有（年間計画・行事予定等の	0	0	1	0
医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合	0	0	0	0
就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定	0	1	0	0
学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所	0	1	0	0
児童発達支援センターや発達障害者支援セン	0	1	0	0
放課後児童クラブや児童館との交流や、障害	0	1	0	0
（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加し	0	0	1	0
日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、	0	0	1	0
保護者の対応力の向上を図る観点から、保護	0	1	0	0
運営規程、支援の内容、利用者負担等につい	0	0	1	0
保護者からの子育ての悩み等に対する相談に	0	0	1	0
父母の会の活動を支援したり、保護者会等を	0	1	0	0
子どもや保護者からの苦情について、対応の	0	0	1	0
定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予	0	0	1	0
個人情報に十分注意しているか	0	0	1	0

障害のある子どもや保護者との意思の疎通や	0	0	1	0
事業所の行事に地域住民を招待する等地域に	0	1	0	0
緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感	0	0	1	0
非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出	0	0	1	0
虐待を防止するため、職員の研修機会を確保	0	0	1	0
どのような場合にやむを得ず身体拘束を行う	0	0	0	0
食物アレルギーのある子どもについて、医師	0	1	0	0
ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共	0	0	1	0
合計				
評価ランク				

0	0	3
0	0	2
0	0	3
0	0	3
0	0	3
0	0	1
0	0	3
0	0	3
0	0	3
0	0	3
0	0	3
0	0	3
0	0	3
0	0	2
0	0	2
0	0	3
0	0	3
0	0	3
0	0	3
0	0	3
0	1	0
0	0	2
0	0	2
0	0	2
0	0	2
0	0	2
0	0	3
0	0	3
0	0	2
0	0	3
0	0	3
0	0	2
0	0	3
0	0	3
0	0	3
0	0	2
0	0	3
0	0	3
0	0	3

0	0	3
0	0	2
0	0	3
0	0	3
0	0	3
0	1	0
0	0	2
0	0	3

2.5

C